

ART OF IBARAKI

The Museum of Modern Art, Ibaraki



茨城県近代美術館

表紙では茨城県近代美術館所蔵の茨城県にゆかりのある作家による作品を紹介しています

中村 彝

なかむら つね

明治20年(1887) - 大正13年(1924)

「カルピスの包み紙のある静物」

カルピスのつつみがみのあるせいぶつ

大正12年(1923)

油彩・麻布・額装

60.7×50.2cm

茨城県近代美術館蔵

水戸市に生まれ明治・大正期に活躍した洋画家の中村彝は、37歳の若さで亡くなる前年、この絵を描いています。肺結核と闘いながら制作に励んだ彝は、お見舞いにもらったカルピスを愛飲し、作品のモチーフとしても取り入れました。大正8年の七夕に発売されたカルピスは、大正11年に、天の川をイメージした青地に白い水玉模様の包装紙がデザインされました。本作の制作と同様、目白のアトリエで関東大震災に見舞われながら事なきを得た彝は、残りの命を絵画にかけるといふ決意をあらたにし、激しいタッチと鮮烈な色彩による緊張感に満ちた静物画を残しています。

主な内容

- ▼ 県へチャリティー金などを贈呈
- ▼ 支部対抗ゴルフ大会を開催
- ▼ 死亡災害ゼロ推進大会開催

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

県へ善意 50 万円を贈呈

◆◆◆ 下期の事業量確保なども要望しました ◆◆◆

本会の岡部英男会長と副会長が6月22日に県庁を訪問し、6月6日に開催した「創立60周年・結成99周年記念支部対抗チャリティーゴルフ大会」における協会員からの善意など計50万円を茨城県の橋本昌知事へ贈呈しました。また併せて、本年度下期における事業量の確保や各土木（工事）事務所間における事業量格差の是正などに対する配慮を求めました。



チャリティーゴルフ大会における協会員からの善意などを県へ贈呈

岡部会長は、橋本知事へ「災害時などに土木関係でご活用いただければ」とチャリティー金などを手渡しました。また、本年度下期における事業量確保への配慮を求めました。

橋本知事は「国と足並みを揃え、上半期末において予算現額の8割程度が契約済みとなることを目指し、早期執行に努めている。心配されるのは下半期に仕事が無いこと。国の下半期における補正予算に対して、県として予算要求をして獲得していきたい」と応えました。

同日に一行は土木部も訪問。上半期8割執行への尽力に礼を述べた上で「事務所間で事業量に差が見られるので、ご配慮いただければ」と要望しました。



県土木部も訪問し、意見を交わしました

富永幸一県土木部総括技監は「東日本大震災以降、復興予算の入っている事務所は事業量が多い。県としても、補正予算などさまざまな工夫をしながら事務所間のアンバランスを是正していきたい」と応じました。

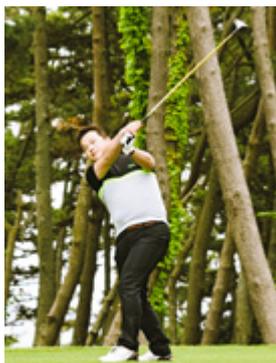
腕競い、親睦深める

第2回チャリティー
ゴルフ大会を開催



岡部会長をはじめとする協会幹部とスポーツカー獲得者で記念撮影

法人化60周年・結成99周年記念の第2回支部対抗チャリティーゴルフ大会を6月6日に大洗町内のゴルフ場で開催し、各支部の腕自慢32組125人が、新ペリア方式で熱戦を繰り広げました。団体戦では竜ヶ崎支部が2連覇を達成。個人戦では高萩支部の沢畑正剛氏が見事優勝し、82位の松本浩治氏（境支部）とともにスポーツカーを獲得しました。



各支部の猛者たちが技術を競い合った



団体戦2連覇を達成した竜ヶ崎支部

プレー後の表彰式で岡部会長は「このような機会を通し、お互いが顔を知ることが大切。今後とも良い人間関係を築きあげて欲しい」とあいさつしました。



チャリティーへのご協力ありがとうございました

このゴルフ大会は、チャリティーと会員相互の親睦を目的に岡部会長の発案により昨年度から開催しているものです。



競技終了後には、お互いの健闘を称えつつ、懇親を深めた

安全安心で快適な職場づくりを

建設業死亡災害ゼロ推進大会を開催

建設業労働災害防止協会茨城県支部（岡部英男支部長）による平成28年度建設業「死亡災害ゼロ」推進大会が6月17日、水戸市の県建設技術研修センターで開催されました。大会では、労働災害防止対策や安全管理の講話が行われたほか大会決議を採択。参加した約200人の経営者や技術者は、安全・健康・快適な職場づくりに取り組むことを誓い合いました。



尾曾副支部長

主催者あいさつで尾曾正人茨城県支部副支部長は、全産業の中で建設業の災害発生率が高いことを憂慮しながら「今後建設業が健全に発展してくためには、安心して働ける快適な職場環境づくりが必要。熱中症や墜落・転落災害、建設機械災害などの防止に向けて、万全の安全対策を講じてほしい」と呼び掛けました。



松田茨城労働局
労働基準部長

来賓では、茨城労働局の松田信太郎労働基準部長が県内建設業の労働災害状況を述べたほか、県土木部監理課の萩本浩志副参事が、県内死亡災害のうち、3分の1強を建設業が占めていることから、従来にも増して事故減少に取り組んでいく方針を述べました。



萩本県土木部
監理課副参事

続いて、茨城労働局健康安全課の中島英明主任地方産業安全専門官が「労働安



全衛生に関する諸対策等」について講話。

特別講演では、労務安全監査センターの東内一明代表理事が「現場を美しく - 5Sのすすめ -」について説明。

最後に青嶋武巳氏（株新みらい営業部長）が大会決議を読み上げ、全員が絶対無事故を再確認しました。

特別講演

現場を美しく ～5Sのすすめ～



労務安全監査センター
東内 一明代表理事

現場を①通路②物品保管場所③作業場所 - に分割し、必要なものを美しく置くなどの整理・整頓・清掃を徹底していただきたい。

建設業「死亡災害ゼロ推進大会」決議（抜粋）

安全は、日々の仕事の中から、労使が協力し、管理者と働く一人ひとりが一丸となって、すべての建設作業に携わる人々が労働災害に遭うことがないように、安全の大切さを再認識し、安全衛生管理を徹底していくことが必要である。

私たちは、建設労働災害の根絶を目指すため、次のような重点事項に取り組むことにより、安全・健康・快適な職場環境づくりをまい進する。

- 1、店社・現場の安全衛生管理体制の確立に努める
- 2、リスクアセスメントを確実に実施し、安全確保への優先順位を確立する
- 3、管理責任者から作業員までの体系的な安全衛生教育の推進を図る
- 4、墜落・転落災害、建設機械等災害、倒壊・崩壊災害等、三大災害の防止対策の徹底を図る
- 5、不安全行動、ヒューマンエラーを要因とする災害未然防止対策の徹底を図る

本大会を契機に、「人命尊重」の理念のもと、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意により、死亡災害ゼロの推進をここに誓う。

大和田米吉氏 田口誠壽氏が受賞 全国中小建設業協会会長表彰



建設業振興功勞を受賞した
大和田常任理事（左）、田口常任理事（代理）

本会の大和田米吉理事と田口誠壽理事が、6月10日に開催された全国中小建設業協会の通常総会で、建設業振興功勞として全国中小建設業協会会長表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

社会人の心構え学ぶ 新規入職者研修



本会は6月20日、本年度の新規入職者研修を県建設技術研修センターで開催。全国建設産業教育訓練協会の富士教育訓練センター講師である花輪孝樹氏が、建設業へと入職した新人など約80人に社会人の心構えなどを説きました。

花輪氏は冒頭「社会人としての自覚を持って欲しい。建設業は技術と信用。自分が会社を背負っている意識を持って欲しい」などとあいさつ。参加者たちは、社会人としての心構えや建設産業の現状、マナーの実践、建設マンとしてのあり方などについて学びました。

適正な施工など学ぶ

建設業経営者研修会開く 県監理課と茨建協

本会は茨城県土木部監理課とともに、平成28年度建設業経営者研修会を6月15日から30日にわたり開催し、県内5会場で計2510人が参加しました。

研修会では、県監理課が、県内建設業者の現況、



入札契約制度の改善状況、適正な下請け契約の締結、施工体制の確保などについて説明しました。

このうち平成29・30年度の入札参加資格については、定期受付を来年1月上旬から2月上旬までの約4週を予定していること、県内22市町村との共同受付を計画していることなどに触れました。

県検査指導課は、単品スライド条項や建設リサイクル法、建設副産物の実態調査などについて解説。本会からは、建設業リスクアセスメントの推進、地域建設業経営強化融資制度、茨城県建設業振興資金制度、建設業退職金共済制度、建設共済保険などについて説明し、活用を呼び掛けました。

大子支部 活動報告

オオキンケイギク除去ボランティア

大子支部（大藤博文支部長）は5月26日、特定外来生物に指定されている「オオキンケイギク」を駆除する緊急ボランティア活動を行いました。支部員約40人が参加し、国道118号のJA上小川直売所付近など4カ所に分かれ、沿道に咲く外来種を駆除しました。

この活動は昨年に続いて2回目の実施となります。支部員たちは国道を往来する車両に注意を払いながら、路肩や法面などに咲くキクの花を丁寧に根元から抜き取りました。手際良く駆除作業を終えると、池田地内の大子町消防本部前にある花壇の掃除と除草作業も行いました。

今回の活動について大藤支部長は「昨年もキクの駆除活動を実施したが、根絶させるにはまだ時



キクの駆除作業にあたった

間がかかりそう。キクの花が枯れて種が地面に落ちる前を狙って、支部員総出で花を抜き取り、在来する野草が育つ環境を守りたい」と述べておりました。

常総支部
活動報告

花壇整備と献血で地域貢献

常総支部（中川原勇支部長）は6月15日に、ボランティアによる花壇整備や献血活動を実施しました。下妻市の国道294号線沿いに位置する「とよかみ歩道橋」では、花壇にサルビアなど5種類の花を植えるとともに、傷みの激しかった



歩道橋下の花壇を整備しました

交通安全の看板を撤去しました。

地域貢献活動の一環として毎年実施しており、

ことしで13回目を数える献血活動には支部員など116人が参加しました。活動について中川原支部長は「地域貢献活動の一環として、たくさんの人が集まってくれている。茨城県では輸血用の血液が不足しているとも聞いており、今後もこういった形で協力していければと思う」と述べました。

筑西支部
活動報告初の献血協力
貴重な血液を提供

筑西支部（柴勝支部長）は6月20日、支部会館の駐車場で同支部初となる献血活動を行い、支部員など75人が参加しました。県赤十字血液センターの担当者は「忙しい中でも駆け付けてくれて、非常に助かっている。建設業者は日中、外にいる方もおり、協力が難しかった方も多かったはず。大変感謝している。今後もお願いしたい」と感謝を述べていました。

潮来支部
活動報告災害ゼロ
推進安全大会開く

潮来支部（石津健光支部長）では、第14回鹿行地区建設業安全大会を6月15日に、神栖市平泉コミュニティセンターで開催し、本会会員と同地区管内の発注官庁の代表をはじめとする来賓ら約250人が参加しました。

労働災害防止活動において特に功績のあった事業所や安全標語を表彰したほか、労働災害防止に向けた講話も開き、災害予防への理解を深めました。



会員の動向

〈住所変更〉

- ▽ 大子支部
海老根建設(株)
久慈郡大子町大子 1966
→ 久慈郡大子町大子 1835-2
- ▽ 鉾田支部
(株)羽生工務店
行方市内宿 906
→ 行方市内宿 1033-1
- ▽ 竜ヶ崎支部
常盤造園建設(株)
取手市駒場 4-5-22
→ 取手市駒場 4-6-5
- ▽ 筑西支部
新井建材(有)
筑西市成井 632-23
→ 筑西市成井 632-24

〈代表者等変更〉

- ▽ 常陸大宮支部
(株)大栄建設
大内 克栄 → 大内 克榮
- ▽ 鉾田支部
藤井建設(株)
藤井 正一 → 原澤 武夫
- ▽ 常総支部
(株)浅丘工業
笹生 和雄 → 笹生 安孝
- 堀越建設(株)
堀越 市郎 → 堀越 七三雄
- 三船建設(株)
舟橋 三男 → 舟橋 はつの

〈電話番号変更〉

- ▽ 太田支部
太田建設協会開発(有)
0294-73-2820 → 0294-72-2964
- ▽ 鉾田支部
梁建設
0291-37-1278 → 029-212-3533

担い手育成事業活用へ

茨城県建設産業団体連合会が総会



茨城県建設産業団体連合会（会長・岡部英男茨城県建設業協会会長）の平成28年度定時総会が6月13日に茨城県建設センターで開かれ、事業計画や予算などが承認されました。本年度は、社会資本整備の計画的な推進に向けた働きかけ、積極的な広報活動やイメージアップ活動などを実施していく計画です。また新たに建設産業担い手確保・育成コンソーシアム事業を活用するため、本会が中心となり予備調査に着手します。



ちよつと一言

朝、歩いて小学校に登校する地元子ども達を見なくなって3ヶ月が過ぎた。私や子供たちが通った地元の小学校が、140余年の歴史を終えて本年3月末に閉校したため、子ども達は今、スクールバスで遠方の統合された小学校に通っている。地元の小学校がなくなったことは、急激な少子化が原因とは言え、地域活動の地区単位や地域性を考えても空虚感や寂しさを禁じ得ない。地方の時代、地方創生と言うけれど、地域に人がいなければ地域の活性化もない。参議院議員選挙の最中、地方が元気になる政策を望むものである。(E)

訂正・おわび

6月号の6ページ、土浦支部定時総会記事の副支部長一覧において紺野仁平氏（(株)紺野工務店）が抜けておりました。訂正し、おわびいたします。